


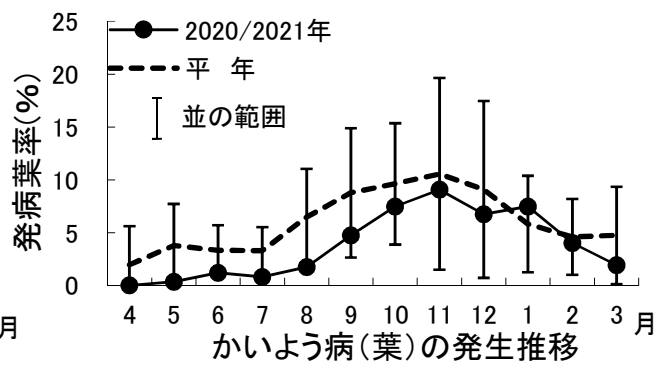
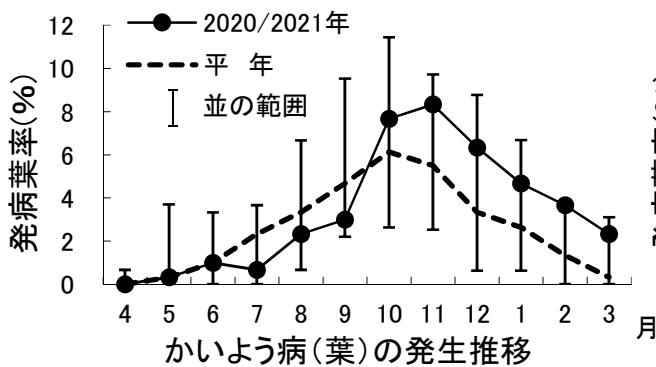
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	3 月の発生量 (平年比)	並	
予報	3 月からの増減傾向	↓	
	4 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

(発病葉率)

〈中央値〉

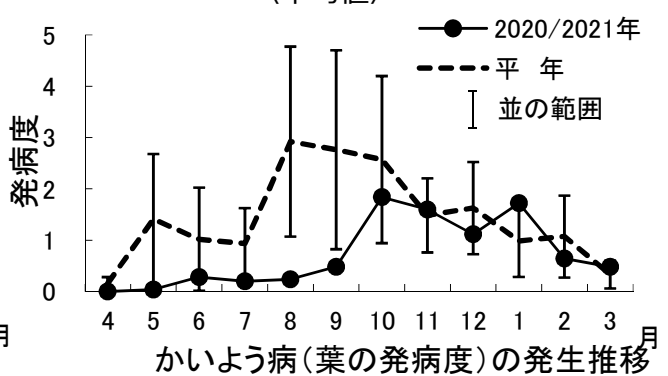
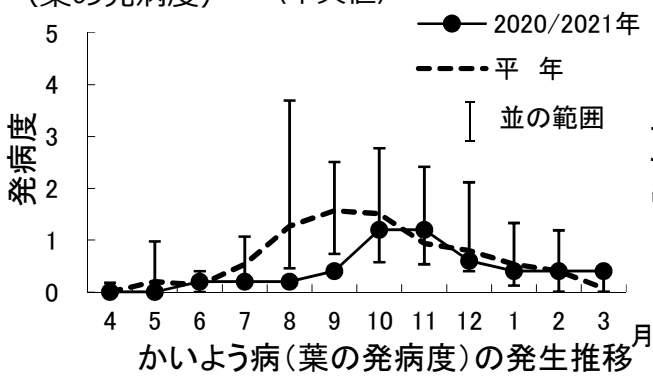
〈平均値〉



(葉の発病度)

〈中央値〉

〈平均値〉




・ 発生ほ場率：100% (平年値：53.7%)

防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。



被害葉→

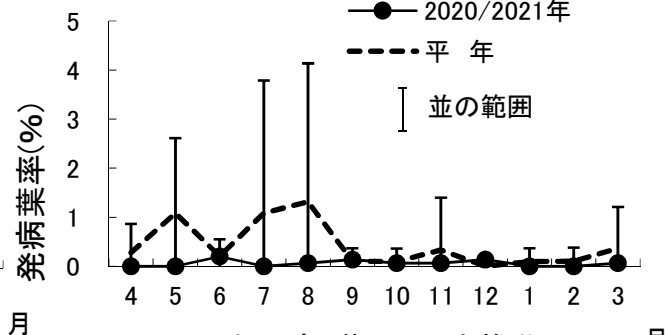
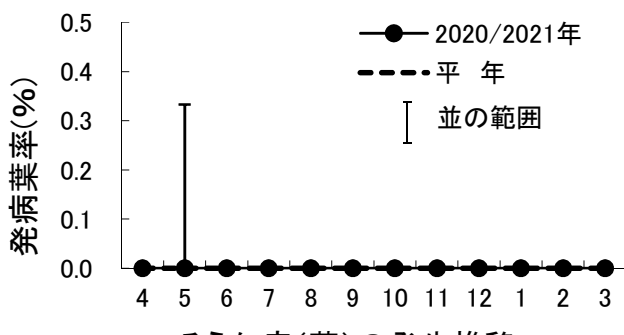
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	そうか病		
調査結果	3 月の発生量 (平年比)	並	
予報	3 月からの増減傾向	→	
	4 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

(発病葉率)

〈中央値〉

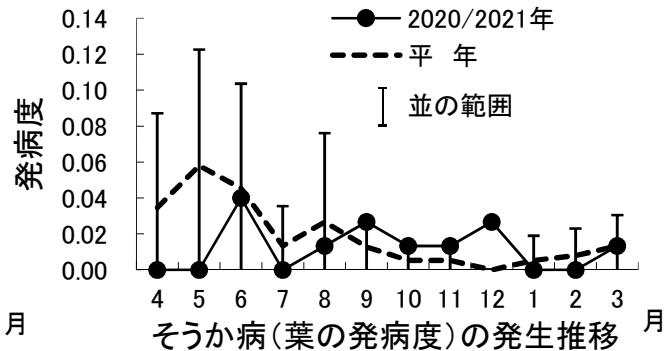
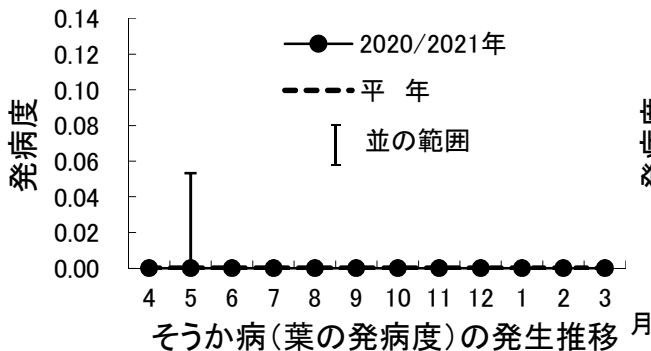
〈平均値〉



(葉の発病度)

〈中央値〉

〈平均値〉




・ 発生ほ場率：20% (平年値：14.6%)

防除のポイント

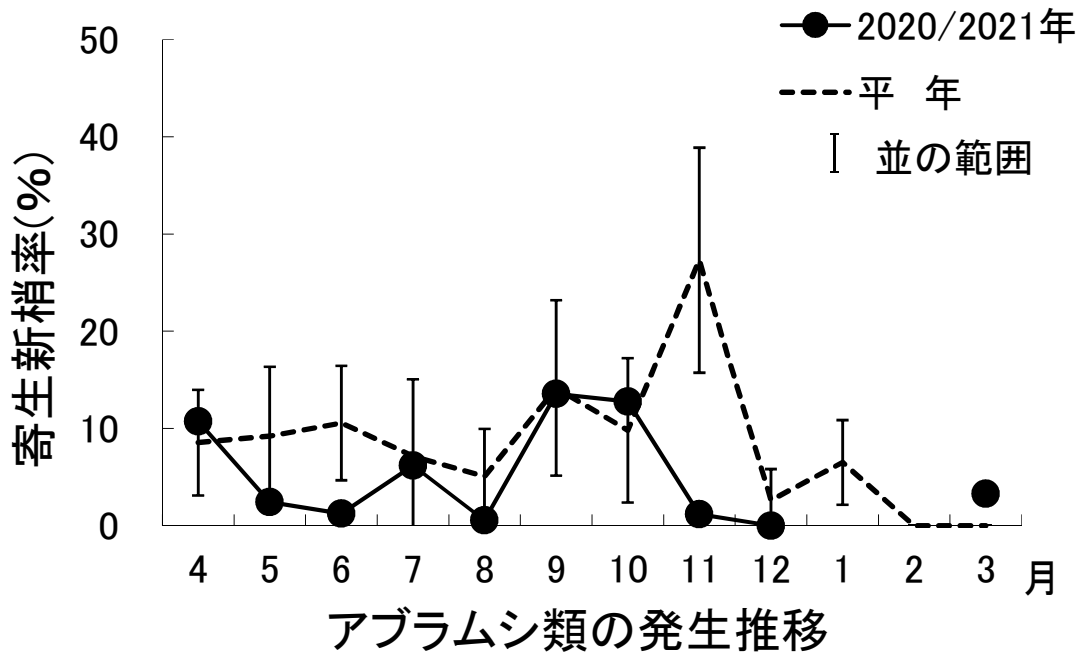
- ・ 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害葉→



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	② アブラムシ類		
調査結果	3 月の発生量（平年比）	多	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量（平年比）	多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果




- ・ 発生ほ場率：60%（平年値：0%）

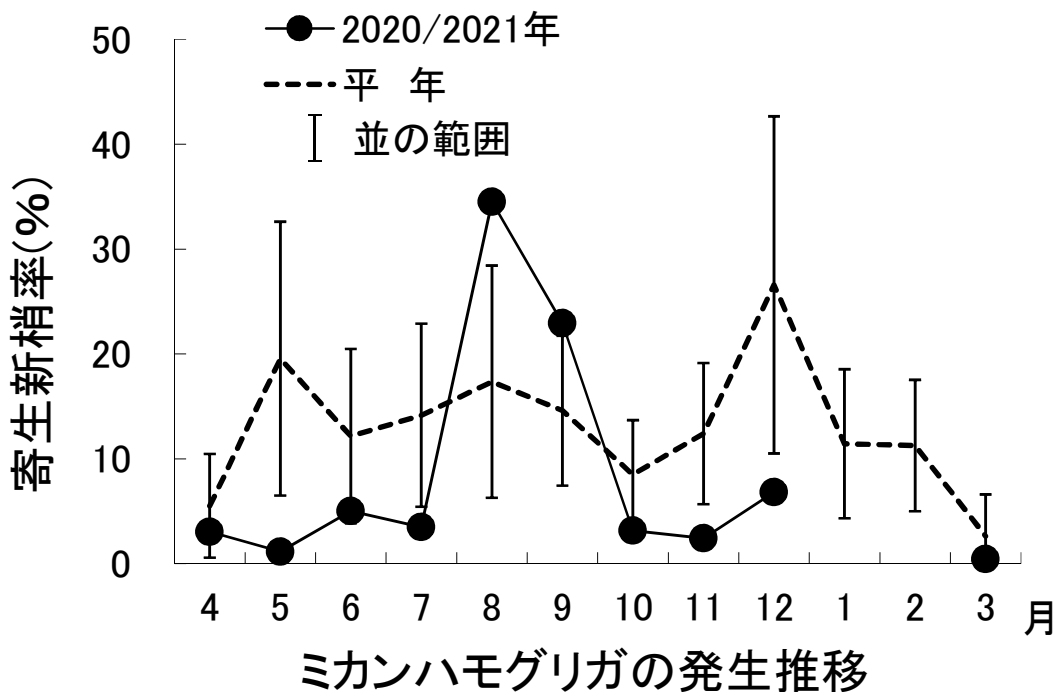
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ミカンハモグリガ		
調査結果	3 月の発生量（平年比）	並	
予報	3 月からの増減傾向	→	
	4 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）	


調査結果



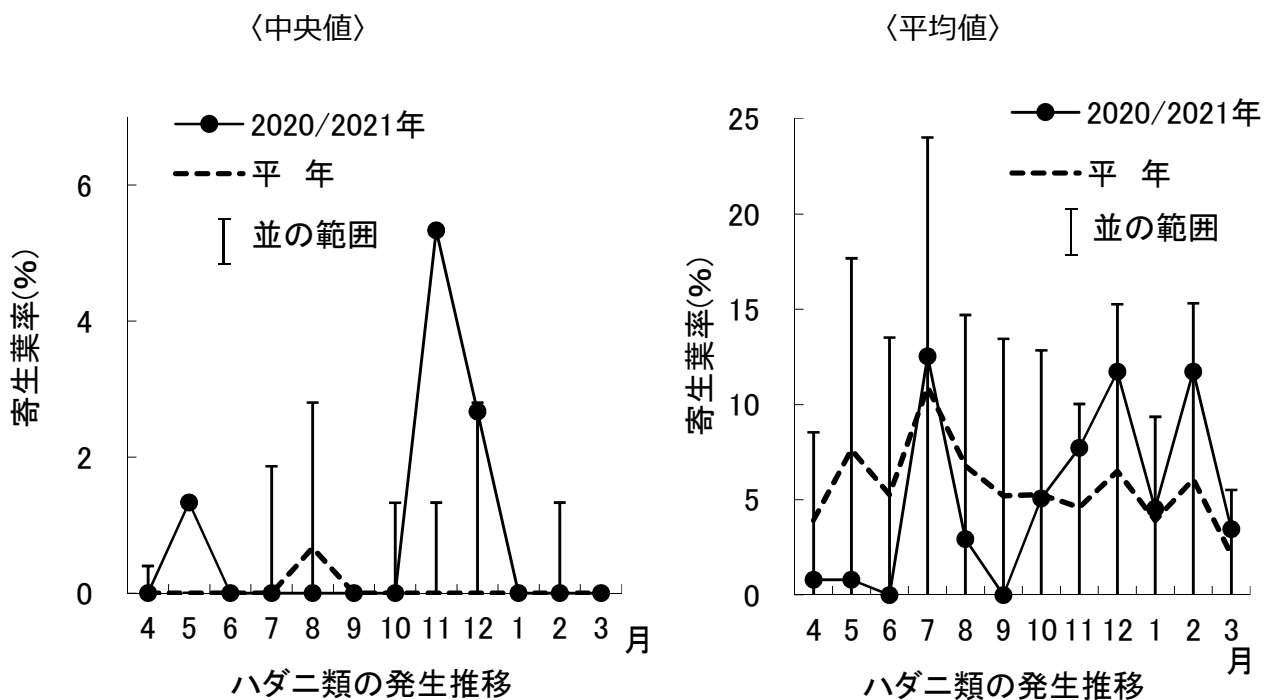
・ 発生ほ場率：20%（平年値：24.1%）

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ハダニ類		
調査結果	3 月の発生量（平年比）	並	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
		4 月の発生量（平年比）	並
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果



・ 発生ほ場率：20%（平年値：25%）

防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状